

第三次千葉県地域福祉支援計画

(中間見直し版)

～「互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会」の構築を目指して～

千 葉 県

2019年3月

ごあいさつ

少子高齢化が急速に進行する中、単身世帯数の増加傾向は今後も続くと推計されており、家族内の支え合いによる問題解決力は低下しています。

また、地域の課題は、複雑化、多様化しており、従来型の施策や個別の支援だけでは解決することが難しい状況となっています。

こうした中、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、県民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域社会をともに創っていくことが必要です。

県では、「互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会」の構築を目指して、平成27年度から「第三次千葉県地域福祉支援計画」を推進しておりますが、このたび、社会福祉法の改正や社会状況の変化を踏まえ、中間見直しを行いました。

本計画に基づき、福祉関係団体のみならず、若い人も高齢者も、障害のある人もない人も、また、子どもから大人まで、多くの地域住民が知恵を出し合い、力を結集させる仕組みづくりを進めるとともに、地域福祉を担う人材の育成や基盤づくりを推進してまいります。

そして、県民の皆様が健やかに地域で暮らし、心豊かに長寿を迎えられ「千葉で生まれて、住んで、働けて良かった」と誇りに思える「暮らし満足度日本一」の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定に当たり、多大な御協力をいただいた「千葉県地域福祉支援計画策定・推進協議会」の委員の皆様をはじめ、貴重な御意見をいただいた市町村、各団体、県民の皆様に対し、心から感謝申し上げます。

2019年3月

千葉県知事 森田 健作

- 目 次 -

第1章 計画の策定に当たって	1
Ⅰ 計画の位置付け・計画期間	1
Ⅱ 計画の中間見直しの趣旨	2
Ⅲ 近年の地域福祉関連施策の動向	3
第2章 現状と課題	7
Ⅰ 人口減少と急速な高齢化の進展	7
Ⅱ 少子化の進行と生産年齢人口の減少	15
Ⅲ 核家族、一人暮らし世帯の増加による「家族力」の低下	18
Ⅳ 地域福祉を取り巻く状況の変化	21
Ⅴ 地域福祉計画の策定状況と県民の意識・活動状況	41
Ⅵ 地域の課題	46
第3章 理念	48
Ⅰ 本計画の理念（私たちが目指す地域の姿）	48
Ⅱ 取組の方向性（4つのポイント）	49
Ⅲ 市町村と県の役割	52
第4章 推進体制	55
Ⅰ 地域福祉の推進イメージ	55
Ⅱ 各圏域の主な役割	56
Ⅲ 地域福祉の担い手として期待される団体等	59
第5章 地域・市町村を支援するための施策	64
Ⅰ 互いに支え合う地域コミュニティの再生	64
Ⅱ 生涯を通じた福祉教育と地域福祉を支える人材の育成	75
Ⅲ 医療・福祉サービスの安定的な供給と地域活動基盤の強化	84
Ⅳ 支援が必要な人、一人ひとりを支える相談等支援体制の充実・強化	96
第6章 進行管理	116
Ⅰ 計画を推進し、地域福祉を進めるために	116
Ⅱ 計画の基本指標	117
Ⅲ 施策ごとの達成目標	117
「互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会」の構築を目指して ～取組の現場から～ （コラム）	121

< 資 料 編 >

1	インターネットアンケート調査の結果	1 3 2
2	県や国における法制度等の動き	1 3 7
3	用語の説明	1 4 2
4	千葉県地域福祉支援計画策定・推進協議会委員名簿	1 5 1
5	第三次千葉県地域福祉支援計画策定の経緯	1 5 2

※「用語の説明」について

説明のある用語の最初の箇所に「番号」を付し、ページ下部に説明文を記載しています。2回目以降のページでは「*」を付しています。

また、巻末にも用語の説明を記載しています。